

正誤表

『胃癌治療ガイドライン 医師用 2018年1月改訂 第5版』第1刷（2018年1月31日発行）に誤りがございました。下記のように訂正し、お詫び申し上げます。

2018年4月15日

金原出版株式会社

記

1 p. 69 CQ19 下から11行

誤 ニボルマブ（3 mg/kg 3週毎に投与） 正 ニボルマブ（3 mg/kg 2週毎に投与）

2 p. 28 図9

矢印の削除（アルゴリズムは図8で示し、本図はレジメンのみ記載）と二次治療以降の表現変更。

誤

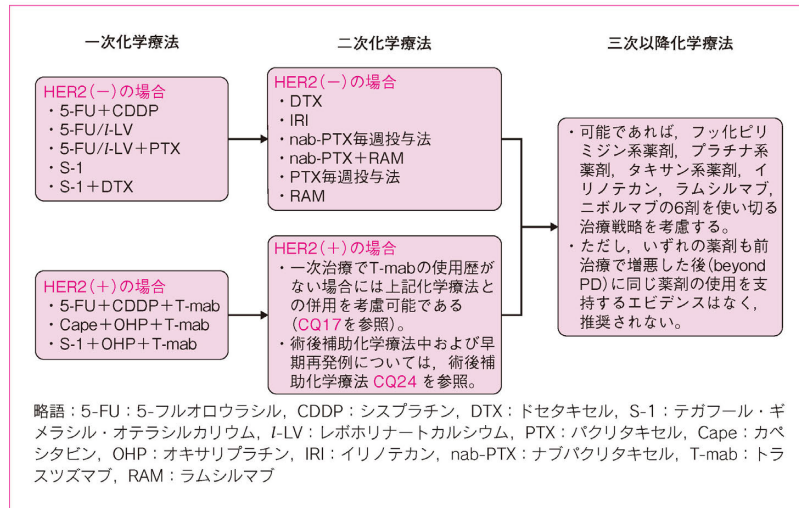


図9 条件付きで推奨される化学療法レジメン（アルファベット順）

正

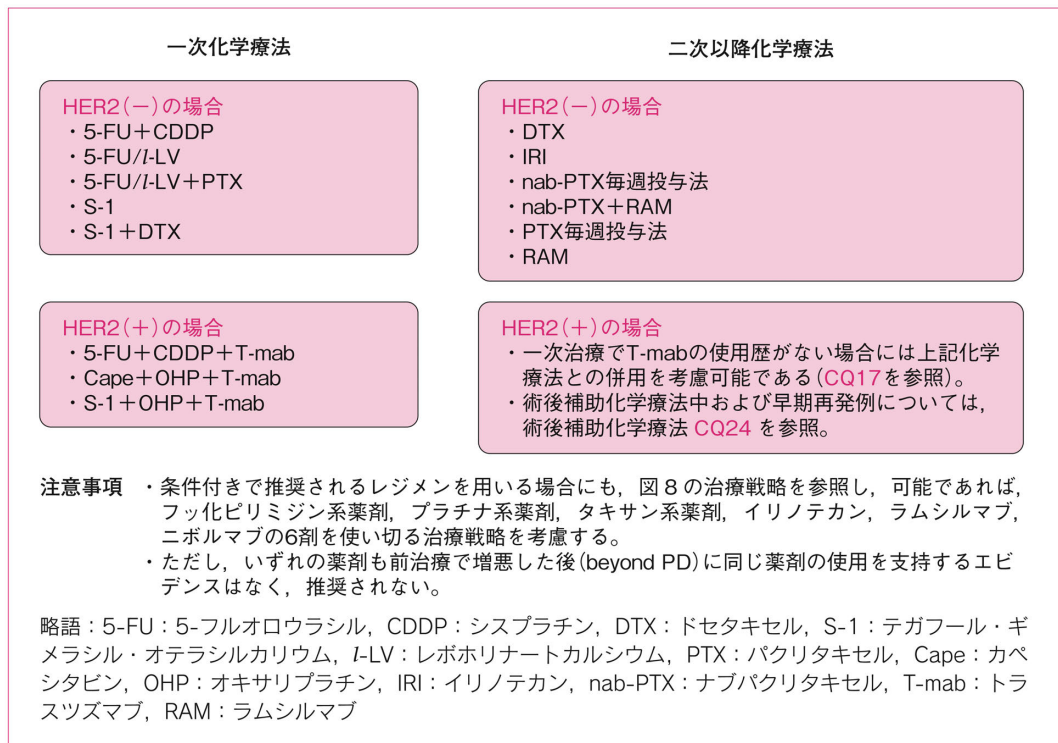


図9 条件付きで推奨される化学療法レジメン（アルファベット順）

3 p. 72 本文最終段落

下線部分を移動する。

誤

その他、併用化学療法としては、5-FU+*l*-LV にパクリタキセルを加えた FLTAX 療法の第Ⅱ相試験^[5]が報告されており、腹水に対する効果が44%に得られた（条件付き推奨）。ただし、G3以上の好中球減少が18.8%、発熱性好中球減少症が2.6%に認められている。現在、5-FU+*l*-LV と FLTAX の比較試験（JCOG1108/WJOG7312G 試験, UMIN000010949）が進行中である。また、FOLFOX 療法の第Ⅱ相試験^[6]では、腹水の減少が35.4%に得られた（条件付き推奨）。

正

その他、併用化学療法としては、5-FU+*l*-LV にパクリタキセルを加えた FLTAX 療法の第Ⅱ相試験^[5]が報告されており、腹水に対する効果が44%に得られた（条件付き推奨）。現在、5-FU+*l*-LV と FLTAX の比較試験（JCOG1108/WJOG7312G 試験, UMIN000010949）が進行中である。また、FOLFOX 療法の第Ⅱ相試験^[6]では、腹水の減少が35.4%に得られた。ただし、G3以上の好中球減少が18.8%、発熱性好中球減少症が2.6%に認められている（条件付き推奨）。

以上